

農村ツーリズム『農たび・北海道』の取組状況

農村ツーリズムの取組とは

- 自然と調和した農村景観や暮らしの中での体験や交流、安全な食を求めるグリーン・ツーリズムに対するニーズが高まり、その内容も多様化する一方で、個々の農林漁業者のみでは高齢化や受入負担などの課題もあり必ずしも十分な対応ができませんでした。

そこで、道では平成29年度より、地域で活動する多様な分野の事業者が「食・滞在・体験等」を「地域ぐるみ」で受け入れる新たなグリーン・ツーリズムである「農村ツーリズム（農たび・北海道）」に取り組んでいます。

平成29年度～令和4年度の主な取組実績

(1) 地域支援体制の整備

- 関係機関・団体の連携を強化するため「北海道農泊推進ネットワーク会議」設置 ⇒ (開催数) R3: 1回、R4: 1回

※参画機関：北海道経済連合会、北海道観光振興機構、JA中央会、ホクレン、ぎょれん、森林組合連合会、日本政策金融公庫、北海道グリーンツーリズムネットワーク、北海道農業公社、北海道農業会議、北海道土地改良事業団体連合会、北海道大学、札幌大谷大学、北海道開発局、北海道運輸局、北海道農政事務所、北海道、農泊地域、農泊実施地域

(2) 取組への意識の醸成

- 取組地域の掘り起こしや意識醸成を図る意見交換・セミナー等開催（道庁、振興局主催、農水省共催等） ⇒ (開催数) H29: 17回 H30: 33回 R1: 26回 R2: 7回 R3: 7回 R4: 17回
- 取組地域のネットワーク化を図る研修会を開催（道庁主催） ⇒ (開催数) H29: 2回 H30: 2回 R1: 1回 R2: 3回 R3: 1回 R4: 1回
- 行政職員のスキルアップを図る全道研修会を開催（道庁主催） ⇒ (開催数) H29: 1回 H30: 1回 R1: 3回 R2: 5回 R4: 1回

(3) 地域の構想づくり支援

- 地域の構想づくりを支援する意見交換・セミナー等開催（道庁、振興局主催等） ⇒ (開催数) H29: 16回 H30: 6回 R1: 43回 R2: 21回 R3: 8回 R4: 24回

(4) 情報発信

- 農村ツーリズム ロゴマークによるPR ⇒ 札幌大谷大学とのタイアップ事業により決定



○ SNSの活用やPR活動の実施



令和5年度の主な取組実績

(1) 地域支援体制の整備

- 関係機関や農泊地域等の連携を強化するため「北海道農泊推進ネットワーク会議」を開催（道庁主催） ⇒ 1回開催

(2) 取組への意識の醸成

- 取組地域の掘り起こしや意識醸成を図る意見交換・セミナー等開催（道庁、振興局等主催） ⇒ 13回開催
- 取組地域のネットワーク化を図る研修会を開催（道庁主催） ⇒ 1回
- 行政職員のスキルアップを図る全道研修会を開催（道庁主催） ⇒ 1回

(3) 地域の構想づくり支援

- 地域の構想づくり・レベルアップに向けた関係者との意見交換・フォーラム等を開催（道庁、振興局主催等） ⇒ 14回開催

(4) 情報発信

- PR活動の実施 ⇒ SNS活用による情報発信やパネル展などを実施
- 北海道農泊地域の魅力を道外に発信 ⇒ 北海道農泊体験情報HPの2次元コードを掲載した「農泊PRポスター」を関東・関西等の北海道どさんこプラザ店に展示し、魅力発信

農たび・北海道パネル展の実施(道庁ロビー)

札幌大谷大学芸術学部の学生が地域の取組をPRするために考案したコンセプトボードを公開



関東・関西等に、北海道農泊地域の魅力発信



羽田空港 東京 大阪 奈良

(5) 人材育成支援

- 都会の若者が「農たび」について考える出前講座・現地講座開催（札幌大谷大学連携事業） ⇒ 2回開催
- 農村ツーリズム推進のための人材育成に係るワークショップやセミナー開催（道庁主催） ⇒ 3回開催

(5) 人材育成支援

- 都会の若者が「農たび」について考える講座を開催（札幌大谷大学連携事業）
 - ・ 大学出前講座（札幌市） ⇒ (開催数) H30: 1回 R1: 1回 R2: 1回 R3: 1回 R4: 1回
 - ・ 農村ツーリズム現地講座 ⇒ (開催数) H30: 1回 R1: 1回 R2: 1回 R4: 1回
 - ・ パネル展での作品展示（道庁ロビー） ⇒ (開催数) H30: 1回 R1: 1回 R2: 1回 R3: 1回 R4: 1回
 - ・ 全道研修会への参加（札幌市、実践者との交流等） ⇒ (開催数) H30: 1回 R1: 1回 R3: 1回 R4: 1回

PR活動

ポスター・チラシ、ロゴ入りトートバック・クリアファイルを作成し農たびをPR。(関係機関へポスター、チラシを配布)

